

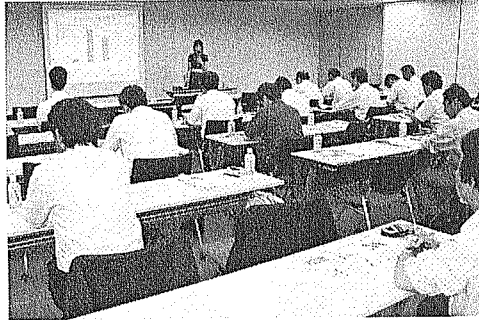
熱中症などの注意点学ぶ

東海電子
セミナー

東海電子は12日、東京都トラック総合会館で「飲酒運転撲滅&SAS・熱中症セミナー」を開催。第一部では同社営業企画グループの菊地健介氏が「寝酒の落とし穴」をテーマに講演し、クイズを交えてアルコールの基礎知識を紹介した。

第二部では、大阪へルスケアネットワーク普及推進機構(OCHIS)の作本貞子理事がSASと熱中症につ

いて解説。「熱中症は体が暑さに慣れていない7月上旬が最も危険」と指摘。「人間は『のどが渴いた』と感じた時点で既に脱水症状が始まっているため、定期的かつ強制的に水分を補給するべき」とし、「熱中症の症状がどうい



くても周囲が気付く環境作りに取り組んでほしい」と呼び掛けた。(大西友洋)